2014
3
No.48
The Kashiwara Miharibaru
かしわら見張り番
発行所 かしわら見張り番

代表 はまうら佳子
〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782
info@kashiwara-miharibaru.com

国豊橋付近の歩道整備に竹本直一衆議院議員（15区）の協力を経て濱浦市議が「国」に直談判!!

高井田の国豊橋付近の歩道整備に、自民党衆議院議員の竹本直一氏の協力を経て国に陳情し、「歩道整備」実現に向けて、今、奔走している。

歩行者が危険な状態の国豊橋

8年ほど前からの案件となっているのが、市内・高井田付近の「国豊橋の歩道」である。近鉄・国分駅とJR高井田駅を結ぶこのあたりは、交通量が多いのに歩道が整備されず、交通事故の危険性が指摘されている。自転車、歩行者が入り乱れ、いつ、事故が起こってもおかしくない状況が続いている。

JR高井田駅前には由緒正しい「宿奈川田神社（通称・白坂神社）」があり、歩道設置のため、神社の移転もしくは一部土地の買い取り案もあったが、神社庁からの許可が下りなかったらしい。確かに、古くから信仰を集める神社の移転はむずかしいであろう。

そこで、土手にはみ出し部分を設けるという「拡張工事案」が浮上したが国土交通省からは「NO!」という返事。そこに立ち向かったのが、濱浦議員である。

濱浦議員は、自民党15区衆議院議員・竹本直一氏に協力を依頼し、この1月、竹本氏や秘書延廣氏、州浜氏のはからいで外務大臣・岸田文雄氏や、国土交通省・近畿地方整備局長と直接、この要望を伝えることができた。

その後、州浜氏から国が国豊橋に歩道をつけるかどうかの調査費を検討するところまでこぎ着けたという連絡を受けた。大きな一歩である。

今後とも国交省との交渉を続け早期に「国豊橋の歩道が実現」できるよう努力を重ねる。濱浦議員の行動力に期待する。

1月30日、八尾土木事務所にて

左より 岸田外務大臣、竹本氏、濱浦氏
（関西21フォーラム新年会にて）

前市長・岡本氏の無責任な行動で歩道設置の計画が頓挫

実は前市長・岡本氏も同様に、平成17年10月に「はみ出し歩道」を造る要請をしたが断られていた。1回こっきりで、すぐすぐと退散するのは、市民の代表である市長としてあまりにも意気地がない。何回も足を運んで、市民のために国から予算を出してもらうようにするのが、市長の務めである。歩道が必要な場所の大和川対岸には、ヘリポートや駐車場が設けられた親水公園となっているが、雨天の場合は水につかっているという、自然災害のときは使えない代物である。

国土交通省、大和川河川事務所は、この親水公園をつくった時に、きちんと申し出てくれれば、歩道設置を考えることもできたと言っている。川は水量（川の広さ）で計算するので、親水公園の一部をけずれば、対岸の国豊橋の突き出し歩道（拡張工事）ができたらしい。

1回断られたぐらいで引き下がれば、国とのパイプができるわけがない。市民のために他の選挙区である竹本直氏党衆議院議員にまで協力をもとめ、国と費を検討するというところまで話をつけた。

この間、わずか半年足らずである。岡本前市長は、2期も務めながら何もしてこなかった。できたのは、ほとんど誰も利用しない駐車場と、ポートである。

2期の間、何度もチャンスがあったはずだ。

歩道設置には、市民からの生の声も必要だ。

濱浦議員は「1人でも多くの声を国に届けることで、要望がかなうという実例がありました。「早く安全な歩道をつけてほしい」という陳情を私に寄せてほしい」と語っている。

「国豊橋に歩道を!」の要望書にご協力ください!

皆さんの要望書を濱浦議員に出そう!

一人の子供の作文が、国を動かすこともあります。年齢・職業は問いません。「国豊橋に歩道をつくってください」と一言でいいので、住所と名前を書いて、「要望書」をお送りください。手紙、はがき、メール、ファクス、どの方法でも結構です。

住所 〒582-0026 柏原市旭ヶ丘2-4-25
FAX 072（977）8782
メールアドレス
info@kashiwara-miharibaru.com

かしわら雑学

「口たたきの手足らず」

おしゃべりは達者だが、仕事のほうはさっぱりできないこと。「口ばっかり手が動かない」と、「口たたき」多弁な人、おしゃべり。

http://www.proverb.jp/proverb1691.html
ことわざ辞典2.0